

イヤーランドウォーキング 小田原漁港コース 11Km

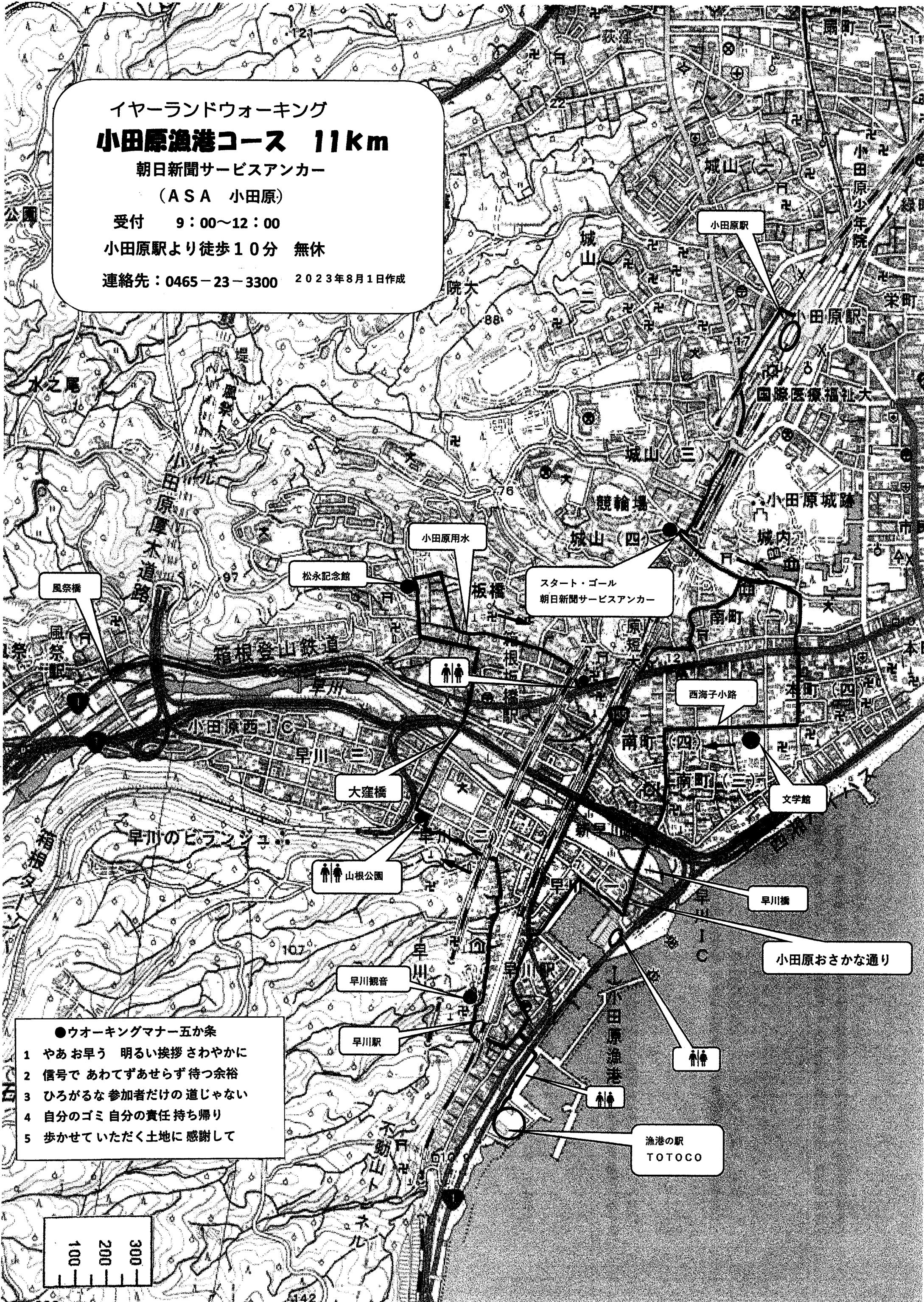
朝日新聞サービスアンカー

(ASA 小田原)

受付 9:00~12:00

小田原駅より徒歩10分 無休

連絡先: 0465-23-3300 2023年8月1日作成



- ① 小田原駅西口を左に出て新幹線沿いに直進し、「城山中学校入口」の信号を渡り左折し直進します。左手に小田原城天守閣を見ながらT字路を右折するとステーションの「朝日新聞サービスアンカー」に着きます。
- ② 「ASA 小田原」を右に出て坂道を下り、「藤棚」の交差点を右折し直進。国道1号線「箱根口」の信号を渡り200m位進むと「西海子小路」入口に着きます。横断歩道を渡り右折して左側の桜並木を歩きます。この通りには見事な桜が両側に植栽され、開花時は素敵な桜トンネルが楽しめます。
- ③ 左側には「小田原文学館」「白秋童話館」があります。小田原ゆかりの文学者の、別館には北原白秋の資料が展示され、小説家の尾崎一雄の書斎も移築されています。
桜並木を歩き横断歩道を渡り左折し直進し、旧早川橋際を渡ります。
- ④ 早川橋からいよいよ小田原漁港へ。小田原漁港で水揚げされた魚類が店頭に並びます。左手の「小田原さかなセンター」の先を右折し、「小田原おさかな通り」に入ります。車に注意しながら魚港側へ、数々の漁船や西湘バイパスの「小田原ブルーウェイブリッジ」の景色楽しんで下さい。「かまぼこ土岩」を左に曲がり「早川駅前」の信号を渡ります。
- ⑤ 駅前を通過し道なりに進み、「早川郵便局」の先の四つ角を右折します。50m位先の左側の階段を降り135号線の海岸地下道を潜り道なりに進むと「漁港の駅 TOTOCO」に到着です。
- ⑥ 「TOTOCO」では相模湾を一望できる景観と新鮮な魚類の食事と地場の農・海産物の買い物を無楽しむ事ができます。
- ⑦ 「TOTOCO」から来た道を戻り、135号線のトンネルを潜り出口を左折してすぐの四つ角を右折します。JRのガードを潜り右折し、真福寺・早川観音・久翁寺・厄除け魚藍観音前を道なりに進みますと新幹線高架下手前にあります。道祖神の祠を左手に見て新幹線高架下を通り川沿いに進みます。二股の道の右にある山根公園を抜けて「アネスト岩田ターンパイク入口」の信号を右折し直進します。大窪橋を渡り、箱根登山電車の踏切を渡ると「板橋」の交差点です。
- ⑧ 交差点を直進しT字路を左折し東海道の旧道を進みます。内野邸の建物の先の松永記念館入口の方向板を右折し道なりに進むと左手の「松永記念館」に到着です。日本の電力王と呼ばれた実業家松永氏の庭園は「日本の歴史公園100選」に選定され、また数寄屋造りの建物等ゆっくり見学・散策してみてはいかがでしょうか。見学は無料、所要時間25分位で見学できます。
- ⑨ 松永記念館の出口から向いの香林寺の前の道を進み、突きあたったら左折し、「小田原用水」沿いを歩きます。新幹線の高架下に着いたら右折し、すぐ左折して国道1号線にします。居上神社を過ぎ、JRのガードを潜り「早川口」の信号を渡り消防署の手前を左折します。
- ⑩ 「無名」の信号を右折し旧道を進み山角天神社の手前を左折し、坂道を上ると国際医療大学が、さらに進むと清閑亭(現在公開停止中)が、坂道を下り終えたら左折して「ASA 小田原」にゴールします。

イヤーラウンド ウォーキング

小田原漁港コース

漁港コースの見どころ

【小田原漁港】

県西地域の拠点漁港で、アジやイワシなどさまざまな種類の魚が水揚げされる。漁港内や周辺にある食堂で旬の魚介類を楽しめるほか、毎年8月第一日曜日には新鮮な魚の即売や漁船でのクールジングなどイベント盛りたくさんのが「小田原みなとまつり」も開催される。防波堤にある小田原ちょうちんを模した灯台や漁港に架かる小田原ブルーウェイブリッジなど海を背景にした眺望にも魅力がある。

【漁港の駅(TOTOCO)】

相模湾の種類豊富な魚介類が集まる豊かな漁場に面する小田原漁港と魚市場。TOTOCOにはその漁港、市場から直送される海の幸を中心に、鮮魚や活魚、水産加工品はもちろん、地場の農産物も多数取り揃えています。相模湾の新鮮な魚介類を堪能いただくとともに、テラスからの景色もお楽しみいただけます。

【小田原文学館・白秋童話館】

本館には小田原ゆかりの文学者の資料、別館の白秋童話館では北原白秋の資料をそれぞれ展示。庭園の一角には昭和を代表する小説家・尾崎一雄の書斎も移築されている。

開館時間：9:00～17:00

入館料：大人250円 小中100円

【早川観音】

真言宗真福寺。本尊は12世紀ごろの作と言われる聖観世音菩薩立像。地元の人には「観音さん」と呼ばれて親しまれており、毎月17日の縁日には大勢の参拝客で賑わう。

【松永記念館・老樺荘】

日本の電力王と呼ばれ、実業界で活躍した松永安左エ門（耳庵）が自宅に敷地内に建設したもの。老樺荘（国登録有形文化財）は、耳庵が晩年過ごしたところで、茶室等の意匠をこらした近代数寄屋建築。庭園は「日本の歴史公園100選」に選定されている。

【小田原用水】

記録として三代北条氏康の時代、天正4（1545）年の連歌師谷床牧の東国紀行に記されており、日本最古の上水道の可能性があります。江戸時代では城下町を潤すための上水道として厳しく管理されていました。

【清閑亭】

黒田長成（元貴族院副議長）の別荘として、明治末期から大正初期に建てられた。雁行状平面で数寄屋風の丁寧な造りが特徴。材質及び技法に優れた純和風建築で、歴史的文化的価値が認められ、平成17年（2005）、国の登録有形文化財に登録されている。